

結核とは

結核は結核菌によって主に肺に起こる病気です。人にうつさないためには、定期的な健診での早期発見、気になる症状が出たときの早めの受診が大切です。

結核は過去の病気ではありません!

日本でも世界でも、正しい知識を持つことで救える命があります。
結核の「いまとこれから」について、一緒に考えてみませんか。

日本の結核DATA (2019年)

結核を発病する人

結核で失われる命

年間 14,460人

年間 2,088人

傾向1

患者の高齢化

結核患者の6割が70歳以上

高齢になるほど発病者が増え、約3人に1人は80歳以上です。日本で結核が蔓延した時代に感染を受けたことが影響しています。



傾向2

外国生まれの患者増

20代の患者の7割が外国生まれ

近年の世界的な人口移動にともない、留学・就業で結核罹患率が高い途上国(アジア)から多くの若年層が入国しています。



世界の結核DATA (2019年)

結核を発病する人

結核で失われる命

年間 約1,000万人

年間 約140万人

傾向1

総人口の約1/4が既に結核に感染

世界では結核が死亡原因のトップ10に入っています。新型コロナウイルスの世界的流行により、結核の重症化や死亡者の増加が懸念されています。



傾向2

アジア・アフリカでの深刻化

保健医療・結核対策の遅れや貧困から、多くの人が治療できる病気である結核に苦しみ、命を落としています。



結核予防会とは

日本で結核が蔓延していた昭和14年に内閣総理大臣に賜った皇后陛下の令旨に基づき設立された公益法人。設立以来、日本と世界から結核をなくすための活動を続けています。

ごあいさつ

結核予防会は、1952年より日本と世界から結核を中心とした胸部疾患をなくすために「複十字シール運動」を推進し、募金活動を行ってまいりました。以来、全国の結核予防会支部・婦人会と連携し運動を進めています。

皆様からいただいた募金は、結核の正しい知識を普及するための教育・広報・啓発活動、結核の蔓延する開発途上国の結核対策の支援・人材育成等の活動に使わせていただきます。

日本は結核の低蔓延国化まであと一歩のところにあります。しかし、新型コロナウイルスの影響により、結核患者の発見に遅れが生じています。この傾向は世界でも同様で、コロナ禍によって患者の発見と治療が3か月以上遅れれば、結核対策に遅れが生じると警告されています。

新型コロナウイルス感染症への対応に全力を尽くしながら、結核予防会は今後も結核の制圧の手を緩めることなく、国内外の活動の強化に努めてまいります。複十字シール募金への皆さまのご支援ご協力をお願い申し上げます。



公益財団法人結核予防会
理事長 工藤 翔二

✚ 複十字章は世界共通の結核予防運動のシンボルです。

問い合わせ

複十字シール募金は下記にて受け付けています。
お気軽にご相談ください。

公益財団法人結核予防会

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 1-3-12
<https://www.jatahq.org>

フリーダイヤル
0120-416864

(事業部募金推進課)



複十字シール運動

結核のない世界をつくろう!

複十字シール運動
イメージキャラクター
たすけあインコ



複十字シール運動
イメージキャラクター
シールぼうや



TB Free World 2027

結核をなくすための
複十字シール募金に
ご協力ください!

主催: ✚ 公益財団法人結核予防会
Japan Anti-Tuberculosis Association (JATA)

後援: 厚生労働省・文部科学省・公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会

結核のない世界のために

みなさまのあたたかい支援をお待ちしています。

複十字シール運動は、結核のない世界をつくる運動です。
その実現のために募金活動を行うとともに、病気への理解を広め、予防の大切さを伝えています。

Campaigns promoting the double-barred cross seal aim to make the world free from tuberculosis. The use of these seals will widen the community of support. The theme for our 2021 campaign is "No matter how far away we are or how difficult it is to meet in person, our hearts are with you" during the difficult times of the COVID-19 pandemic. Your donation will be used to provide programs to promote public awareness and training programs for health care workers both in Japan and developing countries. Tuberculosis is caused by TB bacteria and mainly occurs in the lungs. It is important to have regular health checkups for an early diagnosis and to visit your doctor when you have symptoms in order to prevent the transmission of tuberculosis to others.

みなさまから
いただいた募金は

このような活動に大切に使われています

日本での活動

患者数が減少し、結核への関心が低下しているため、普及啓発に重点をおいています。



全国の協力団体を通じた啓発キャンペーンや講習会



ポスター・パンフレットなどの教育広報資料の作成



オンライン開催されたコロナ禍での結核予防全国大会



世界での活動

国内の活動で培った技術、知識、経験を活かして、世界の人々を結核から守るために国際協力に取り組んでいます。



患者さんを支える住民ボランティアの育成



医療従事者への技術指導



正しい知識の普及啓発

募金による 主な活動地域

- ◆ザンビア ◆カンボジア
- ◆ネパール ◆ミャンマー

今年度の複十字シールに 込められた思い

今年度の複十字シールは、コロナ禍で人と人が会うことが難しいなか、“どんなに離れていても、どんなに会えなくても、思いは届く”をテーマにしました。人々や動物たちがさまざまな方法で思いを伝え合う様子が描かれています。



複十字シールには、
健康を願うメッセージが
込められています。

運動のはじまりと複十字シール

1904年にデンマークでクリスマスシールが発行され、その益金は結核に苦しむ人々のために役立てられました。シールを使った募金活動は世界に広がり、現在も各国で行われています。結核予防会は1952年に最初のシールを発行しました。募金をいただいた方にシールを差し上げています。シールをお使いいただくことで、運動の輪が広がります。

注目 TOPIC



結核と新型コロナウイルス

世界的な新型コロナウイルスの蔓延は、結核にも大きな影響を及ぼしました。新型コロナウイルス感染拡大による受診控えや健康診断の中断によって結核患者の発見が滞ってしまいました。また、結核病床が新型コロナウイルス用に転用されるなど、結核患者の医療にも影響を与えました。

令和2年度 募金報告

募金収入

1億8,173万6,480円

事業費

1億2,079万6,507円

(諸経費・次期繰越金を除く)

使途 内訳

調査研究

12万7,894円

事業助成

2,340万3,803円

普及啓発

6,000万7,251円

国際協力

3,725万7,559円

▶ 税の優遇措置

募金は、寄附金控除の対象となり、税制上の優遇措置を受けることができます。

▶ 表彰制度

年間個人50万円、法人100万円以上の募金をいただいた方に、結核予防会の規定により、結核予防会総裁名の感謝状の贈呈がございます。